

再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：前佛 和秀

事業名	空港・港湾等アクセス 一般国道150号 久能拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	静岡市
起終点	自：静岡市清水区蛇塚 至：静岡市駿河区大谷			延長	4.2 km
<p>事業概要：一般国道150号は、静岡県静岡市を起点とし同県浜松市に至る延長131kmの駿河湾沿いの幹線道路である。</p> <p>このうち久能拡幅は、静岡市清水区蛇塚を起点とし駿河区大谷に至る延長4.2kmの現道2車線区間を、渋滞解消、物流ネットワークの強化を目的に4車線化整備するものである。</p>					
H20年度事業化	S47年度都市計画決定	H20年度用地着手		H22年度工事着手	
全体事業費	約70億円	事業進捗率	約58%	供用済延長	約1.2km
計画交通量	28,300台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.6	総費用 (残事業) / (事業全体) 26/74億円	総便益 (残事業) / (事業全体) 120/120億円	基準年 令和2年	
	(残事業) 4.7	事業費：23/71億円 維持管理費：2.4/2.4億円	走行時間短縮便益：90/90億円 走行経費減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：9.4/9.4億円		
<p>感度分析の結果</p> <p>(事業全体) 交通量：B/C=1.5~1.8 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.2~5.1 (交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.5~1.8 (事業費 ±10%) 事業費：B/C=4.3~5.1 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.4~1.9 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.5~4.8 (事業期間±20%)</p>					
<p>事業の効果等</p> <p><交通の円滑化やアクセス向上> 清水港へのアクセス性が向上し、物流ネットワークが強化され、物流の効率化が期待される。</p> <p><災害時の緊急輸送ルート強化> 第一次緊急輸送道路に位置づけられており、災害により被災した地域からの迅速な緊急搬送、救援物資等輸送の確実性向上が期待される。</p> <p><交通事故減少> 歩道の連続性確保により、歩行者の安全性が向上する。</p> <p><主要な観光地への利便性向上> 渋滞解消により、久能山東照宮、いちご狩りなどの主要な地域観光の活性化が期待される。</p>					
<p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>地元自治体（静岡市）、国道150号整備促進期成同盟会より、早期整備促進を要望されている。</p>					
<p>事業評価監視委員会の意見</p> <p>事業継続を妥当と認める。</p>					
<p>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</p> <p>「重要物流道路」の指定により、物流上重要な道路輸送網として機能強化を進める必要がある。</p>					
<p>事業の進捗状況、残事業の内容等</p> <p>用地取得率 約90%、事業進捗率 約58%</p>					
<p>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</p> <p>用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事を推進していく。</p>					
<p>施設の構造や工法の変更等</p> <p>舗装・構造物の基礎等については、再生材を使用するなど可能な限りコスト削減を図る。</p>					

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



凡例	
	事業中
	該当箇所



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。